

## 日本音楽の魅力 再発見!

日本のうたと西洋のうたを比べてみたら・・・!?

### 「能・人形浄瑠璃とオペラ」

西洋音楽の達人・青島さんがナビゲーターとなり、“こえ”による感情の表現の仕方などを通して、日本と西洋の“うた”を比べながら、日本の音楽の魅力を楽しみお伝えします。

場所/1F・ホール

時間/19:00開演  
(18:30開場)

(公演時間:約90分)  
休憩あり

入場料 大人:2,000円 子ども(4歳~18歳):1,000円

全席自由席/前売・当日同一料金

※3歳以下のお子様は保護者1名につき、ひざ上で1名無料鑑賞ができます。ただし、席が必要な場合は有料となります。

プレイガイド インターネット購入    
あわぎんホール窓口(9:00~17:00)

※電話もしくはインターネットで予約された方は、全国のセブンイレブンでお支払い・発券いただけます。

※車いす席をご利用のお客様は、あわぎんホールまでお問い合わせください。

お楽しみ会

### 青島さんの『音楽教室』“にっぽんの子供の歌”

先生:青島広志

ゲスト:横山美奈(ソプラノ) 小野勉(テノール) 宝福英樹(バリトン)

「かごめ、花いちもんめ、通リゃんせ、花咲節、春が来た村祭、かなりや、浜千鳥、手のひらに太陽を、さんぽ」など

場所/5F・小ホール

時間/16:20  
(16:00入室)  
(授業時間:約40分)

〈先生から一言!〉

どこの国にも子供のための歌がありますが、世界中で一番発達しているのは、何と言っても日本なのです!江戸時代から歌われていた遊び歌から、明治時代の唱歌、大正時代の童謡、昭和時代のテレビやアニメのソングまで、みんなで楽しく歌って踊りましょう。

対象 小学生~高校生 100名程度

※上記公演チケットを購入いただいた方限定

※参加者多数の場合は、先着順とさせていただきます。入室できない可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

※保護者の方は、教室後方でご見学いただけます。

※小学生未満のお子様でも保護者同伴であれば参加できます。



アクセス  
徳島駅より徒歩8分  
徳島ICより車で20分  
徳島空港より  
空港連絡バスで25分、徳島駅より8分

●お問い合わせ  
あわぎんホール  
(徳島県郷土文化会館)  
TEL:088-622-8121  
FAX:088-622-8123  
E-mail: jigyo@kyoubun.or.jp

近隣駐車場のご案内  
あわぎんホールには専用の駐車場がございません。お車でお越しの方は、あわぎんホール東側の「県営藍場町地下駐車場」をはじめ、周辺の有料駐車場のご利用をお願いします。各駐車場は台数が限られており、駐車できない場合がございますので、公共交通機関のご利用をおすすめします。

演目	
邦楽	能:「狸々」 人形浄瑠璃:「傾城阿波の鳴門」
洋楽	オペラ:「ドン・ジョヴァンニ」 「椿姫」 オペレッタ:「こもり」より

日本の歌を  
歌って踊ろう!



洋楽



青島 広志 (ピアノ)

1955年東京生まれ。東京藝術大学および大学院修士課程(作曲)を首席で修了。これまでに作曲した作品は200曲を超える。ピアニスト・指揮者としての活動も40年を越え、最近ではコンサートやイベントのプロデュースも数多くこなしている。テレビ「題名のない音楽会」「世界一受けたい授業」などに出演。他にもイラストや書籍執筆などの仕事も数多く手がけている。東京藝術大学講師、洗足学園音楽大学客員教授、日本現代音楽協会、作曲家協議会、東京室内歌劇場会員。



横山 美奈 (ソプラノ)



小野 勉 (テノール)



宝福 英樹 (バリトン)

邦楽



大江 信行(大江能楽堂)

能楽師・観世流シテ方。幼少より父七世・大江又三郎に師事し、長じて人間国宝・片山幽雪に師事。現在までに「翁」「道成寺」など多くの秘曲を披く。能以外のジャンルとのコラボレーション等も積極的に手掛け、能楽の新しい形を模索している。



淡路人形座

1964年に吉田傳次郎座の道具類を引き継ぎ、興行を始めた淡路人形座は2014年8月に福良港に移転。常設館での公演、国立劇場などの一般公演の他、後継者団体への指導、全国の伝統人形芝居保存会への協力など、国内外で活躍。



平成29年3月25日(土)26日(日)  
あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)  
ホール・大会議室・他

# 徳島邦楽 ルネッサンス 第二章 現代を生きる邦楽 「にっぽんの声」

今回のテーマは、「にっぽんの声」!

にっぽんの音楽は、  
いろんな「声」で彩られています。  
「きれいな声」「力強い声」  
「心にしみる声」「たのしい声」...

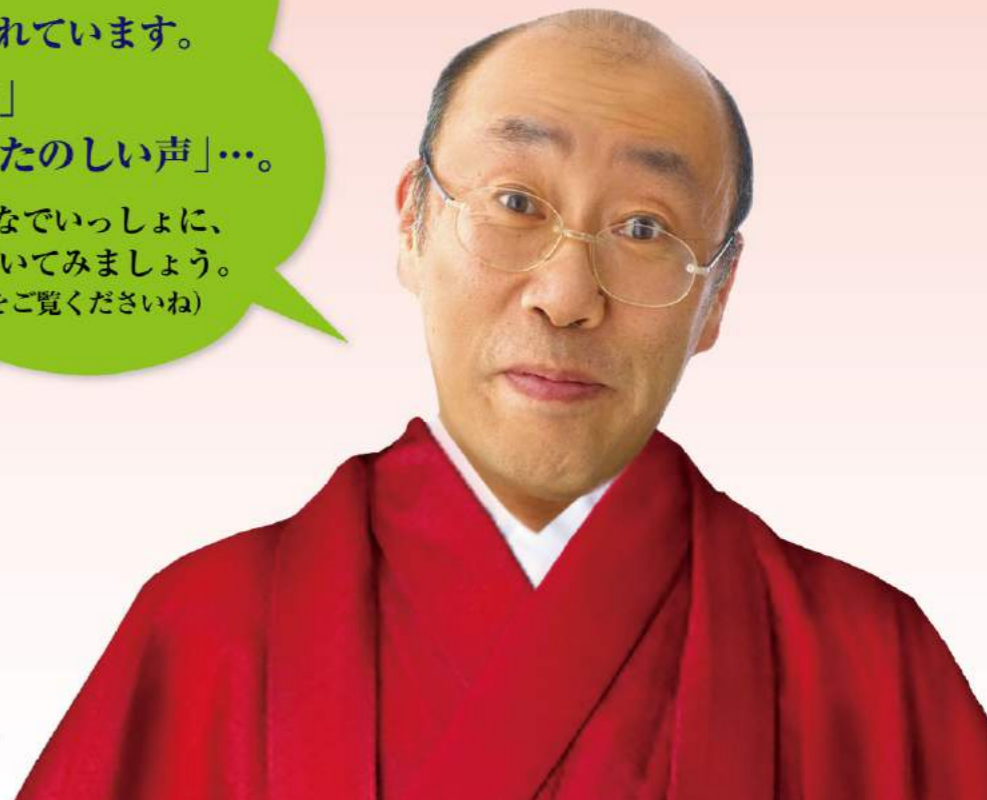
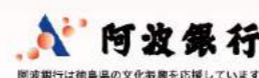
私のご案内しますから、みんなでいっしょに、  
「にっぽんの声」の世界をのぞいてみましょう。  
(くわしいイベント情報は、中面をご覧くださいね)

徳島邦楽ルネッサンス・ナビゲーター:青島広志

「題名のない音楽会」「世界一受けたい授業」などのテレビ番組でおなじみの音楽家・作曲家・指揮者

主催:公益財団法人徳島県文化振興財団  
共催:徳島県邦楽協会  
後援:徳島新聞社、四国放送、エフエム徳島

助成:平成28年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業  
一般財団法人地域創造  
企画制作:有限会社古典空間





3月25日(土)

# “君も今日からにっぽんの声マスター” にっぽんの声と友達になろう!

にっぽんの音楽(邦楽)の代表的な発声法や「うた」「かたり」などを体験・鑑賞してみましょう。これまで体験したことのない方、大歓迎! 恥ずかしがらず、思い切り大きな声をみんなで出せば、気持ちもスッキリ。さあ、声を出してみよう。

※25日のイベントはすべて無料のイベントで、年齢制限もございません。「にっぽんの声」の魅力を様々な側面から体験・鑑賞いただけますので、ご家族の皆さんで是非お越しください。

「謡ってみよう!」…《能(謡曲)への誘い》

ニッポンが誇る、世界最古の演劇とも言われる「能」の発声と表現にチャレンジ!

【先生】中森貫太

「歌ってみよう!」…《地歌への誘い》

その昔“京の都”で大流行! 言葉遊びがちりばめられた「地歌」にチャレンジ!

【先生】帯名久仁子

「唄ってみよう!」…《長唄への誘い》《端唄への誘い》  
《民謡への誘い》

・歌舞伎を支えてきたカッコイイ三味線音楽の一つ「長唄」にチャレンジ!  
・多くの人々が楽しみ、江戸時代から受け継がれる粋な“J-POP”「端唄」にチャレンジ!  
・彩り豊かな四季と山海の幸に恵まれた日本の風土が生みだした「民謡」にチャレンジ!

【先生】〈長唄〉杵屋三七郎 〈端唄〉本條秀五郎 〈民謡〉福島俊治

「吟じてみよう!」…《吟詠への誘い》

歴史に残る詩歌に独特の節をつけて歌う(=吟じる)芸能、「吟詠」にチャレンジ!

【先生】土方昊鶴



## 体験コーナー

場所/あわぎんホール  
4・5F  
会議室・和室ほか

時間/13:40~  
15:10

“うた”だけでなく、日本の伝統楽器(三味線・箏・尺八など)の体験コーナーもあるよ!  
【先生】徳島県邦楽協会

「語ってみよう!」…《浄瑠璃への誘い》《琵琶への誘い》

・うなって語れば“絵が見える”人形浄瑠璃のナレーター「義太夫節」にチャレンジ!  
・軍記物語などをドラマティックかつパワフルに表現するストーリーテラー「琵琶語り」にチャレンジ!

【先生】〈浄瑠璃〉鶴澤友輔 〈琵琶〉古澤史水

スタンプラリーもあるよ!

8つの体験コーナーをめぐるスタンプラリーを実施します。5つ以上のコーナーを体験してスタンプを集めた方は、オリジナル景品をゲット!(数量限定のため、早い者勝ちです!!)

※各セクション、気軽に楽しく参加できる体験コーナーです。すべてのコーナーを回り、スタンプをたくさん集めて、素敵な景品をゲットしよう!



## LIVEコンサート 必見 オープニングライブ

場所/4F大会議室  
特設ステージ  
時間/13:00~  
13:30

「にっぽんの声」の8つのジャンルのアーティストが模範演奏! それぞれの「声」にどんな違いがあるのかを確かめてみよう。

## にっぽんの声・ライブ! LIVEコンサート 必聴

場所/4F大会議室  
特設ステージ  
時間/15:30~  
17:00

それぞれの「声」の魅力を味わってみよう。8つのジャンルのアーティストがそろって出演する貴重な舞台。是非、お見逃しなく!



【謡曲】  
中森貫太(なかもりかんた)  
シテ方観世流。(一社)日本能楽会会員※重要無形文化財総合指定。(公社)能楽協会会員。(公財)鎌倉能舞台業務理事。(公社)観世九草会メンバー。



【長唄】  
杵屋三七郎(きねやさんしちろう)  
東京藝術大学音楽学部卒、杵屋三左衛門、杵屋五三吉師に師事。浄観賞、渡邊英綱賞受賞など。近年の活動は国内外多岐にわたる。



【民謡】  
福島俊治(ふくしまとしはる)  
平成13年福島流・阿波ぞめき「渦の會」結成。県内外の阿波踊り有名連所属の三味線師を指導、阿波おどりの発展普及に努める。



【浄瑠璃】  
鶴澤友輔(つるざわともすけ)  
東京藝術大学音楽学部卒業。人間国宝鶴澤友路に師事。演奏活動を行いながら瀬戸内寂聴原作の新作浄瑠璃等作曲活動も行う。



【地歌】  
帯名久仁子(おひなくにこ)  
東京藝術大学卒。「題名のない音楽会」等に出演。「邦楽ジャーナル」に連載執筆中。東京藝術大学邦楽科講師。



【端唄】  
本條秀五郎(ほんじょうひでごろう)  
本條秀太郎師に倅奏楽、江戸端唄、地方座敷唄(民謡)等を師事。NHK邦楽技能者育成会第44期修了。



【吟詠】  
土方昊鶴(ひじかたこうかく)  
吳陽流吟詠会、日本クラウン吟友会所属。詩吟独特の音楽性に魅力を感じ、各種大会等に積極的に参加するなど多方面で活動。



【琵琶】  
古澤史水(ふるさわしすい)  
錦心流琵琶全国一水会会長。東京東支部長。日本琵琶楽協会会員。(公社)日本吟道学院師範。NPO法人琵琶を楽しむ会代表。

徳島県邦楽協会



昭和42年(1967年)県民文化活動の中核団体として発足。日本の伝統音楽である謡曲、長唄、碁子、三曲、小唄、吟詠、琵琶、浄瑠璃、俗曲・端唄、民謡の10部門で構成され、幅広く活動する全国的にも珍しい団体。発足以来、毎年「邦楽大会」を開催し、県内各種イベントへの参加、学校音楽教育における実演指導等を行っている。国民文化祭とくしま2007「おどる国文祭」では、全国規模の「邦楽の祭典」を主催し、オリジナル曲「新饗恵比壽實船」、「吾列呂(ボレロ) 邦楽合奏のために」を発表。また、文化庁の伝統音楽普及促進支援事業に取り組み、その成果を「伝統文化普及促進支援事業」のページに報告するなど、多方面で活動している。